

2026年3月
TG/130/4 2010-03-24 に準拠

アスパラガス種

Asparagus

(*Asparagus officinalis* L.)

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この基準は、ユリ科 (*Liliaceae*) クサスギカズラ属オフィキナリス種 (*Asparagus officinalis* L.) 及びその交雑種の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子又は発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指示する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,200 粒
栄養繁殖性品種の場合 60 個体
種子は発芽率、純潔率、水分量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分できる正常な生育が可能な条件で実施する。
- ii) 最低供試個体数 40 個体 (2 区制以上に分割)
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 30 個体又は各個体から採取した部分 30 個とする。
調査時期等 特性表の調査方法欄に以下の記号を含む形質については、以下に示された時期に行う。
 - (a) 若茎の形質については、出芽時に行う。
 - (b) 葉及び植物体の形質は、収穫されていない生育終期の植物体のぎ葉が十分に展開したときに行う。
- v) 特別な試験 特別な条件でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は、実施することがある。

IV. 判定基準

判定は、品種登録出願等審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般審査基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び雄性交雑品種の均一性においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

他家受粉品種の均一性においては、上記一般基準の第 4 の 2 (2) を適用する。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 若茎先端部のアントシアニン着色の有無 (形質 2)
- ii) ぎ葉群の緑色の濃淡 (形質 14)
- iii) 茎の長さ (形質 15)
- iv) 開花型 (形質 19)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (* (+)	ほう芽始期	Time of emergence of spears	30%以上の株から1本以上ほう芽した時の早晚	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	UC157 Pacific Purple	
2	2	QL (* G	若茎先端部のアントシアニン着色の有無	Spear: anthocyanin coloration of apex	若茎先端部(りん片葉)のアントシアニン着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
3		QN (+)	若茎先端部のアントシアニン着色の強弱	Spear: intensity of anthocyanin coloration of apex	若茎先端部(りん片葉)のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	UC157 Gijnlim Purple Passion	
4		QN (+)	若茎のアントシアニン着色の強弱	Spear: intensity of anthocyanin coloration	若茎のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	UC157 Gijnlim Pacific Purple	
5		QN	若茎の緑色の濃淡	Spear: intensity of green color	若茎のクロロフィル発色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	Purple Passion はるむらさきエフ UC157、Grande Gijnlim	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	3	QN (* (+)	若茎先端部の形	Spear: shape of apex	収穫適期の若茎先端部の形	観察 VG (a)	1 2 3	狭三角 三角 広三角	narrow triangular medium triangular broad triangular	UC157	
7	4	QN (* (+)	若茎の中央部と比較した先端部の基部の太さ	Spear: diameter of base of apex compared to middle of stem	若茎の中央部の茎の太さと比較した若茎先端部の頭基部の太さ	観察 VG (a)	1 2 3	細 同等 太	smaller equal larger	UC157、Gijnlim	
8	5	QN (+)	若茎のりん片葉の着き方	Spear: attitude of bracts	若茎のりん片葉の若茎表面への着き方	観察 VG (a)	1 2 3	密着 やや突出 突出	adpressed slightly held out markedly held out	はるむらさきエフ	
9	6	QN (* (+)	若茎のりん片葉の長さ	Spear: length of first bracts at base of apex	若茎先端部の頭基部の第一りん片葉の長さ	観察/ 測定 mm VG/ MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	UC157	
10	7	QN (* (+)	若茎のりん片葉の幅	Spear: width of first bracts at base of apex	若茎先端部の頭基部の第一りん片葉の最大幅	観察/ 測定 mm VG/ MS (a)	3 5 7	狭 中 広	small medium wide	UC157、 RG 紫色舞 ファースト	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	8	QN (* (+)	茎の数	Plant: number of stems	1株当たりの茎の数	観察/ 測定 VG/ MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many	RG 紫色舞 ファースト Gijnlim	
12	9	QN (+)	りん片葉の開き	Spear: opening of bracts	若茎のりん片葉の開きの程度	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weakly open moderately open strongly open		
13	10	QN (+)	ぎ葉の粗密	Plant: density of phylloclades	最初の分枝していない側枝に着生しているぎ葉の粗密	観察 VG (b)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
14	11	QN (* G	ぎ葉群の緑色の濃淡	Plant: intensity of green color of foliage	十分に展開したぎ葉群の緑色の程度	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	Early California RG 紫色舞 ファースト	
15	12	QN (* (+ G	茎の長さ	Stem: length	株の地際から先端までの茎の長さ	観察/ 測定 cm VG/ MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	さぬきのめざめビオレッタ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	13	QN (* (+)	茎の分枝着生最下節までの長さ	Stem: length up to first ramification	株の地際から分枝の着生最下節までの茎の長さ	観察/ 測定 cm VG/ MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Gijnlim、UC157 はるむらさきエフ	
17	14	QN (*	茎の太さ	Stem: diameter at ground level	株の地際の最大直径	観察/ 測定 mm VG/ MS (b)	3 5 7	細 中 太	small medium large	Gijnlim	
18	15	QN (+)	開花始期	Time of beginning of flowering	未収穫株において、30%以上の株から1花以上開花したときの早晚	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	Gijnlim UC157	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	16	QL (* (+) G	開花型	Type of flowering	株の花の雌雄性	観 察 VG	1	雄花株のみ	only plants with male flowers without style rudiments	UC157	
							2	雄花株と雌 花株	plants with male flowers and plants with female flowers		
							3	未発達花柱 のある雄花 株のみ	only plants with male flowers with style rudiments	Gijnlim	
							4	雌花株のみ	only plants with female flowers		

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

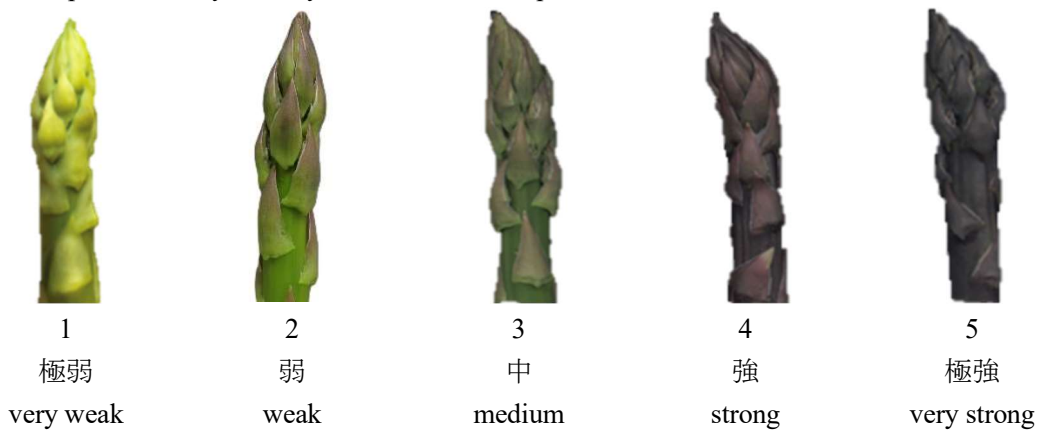
形質1 ほう芽始期 Char.1 Time of emergence of spears

ほう芽始期は、30%以上の株から1本以上ほう芽した時を記録する。

The time of emergence of spears is when at least 30% of the plants have at least 1 spear emerged.

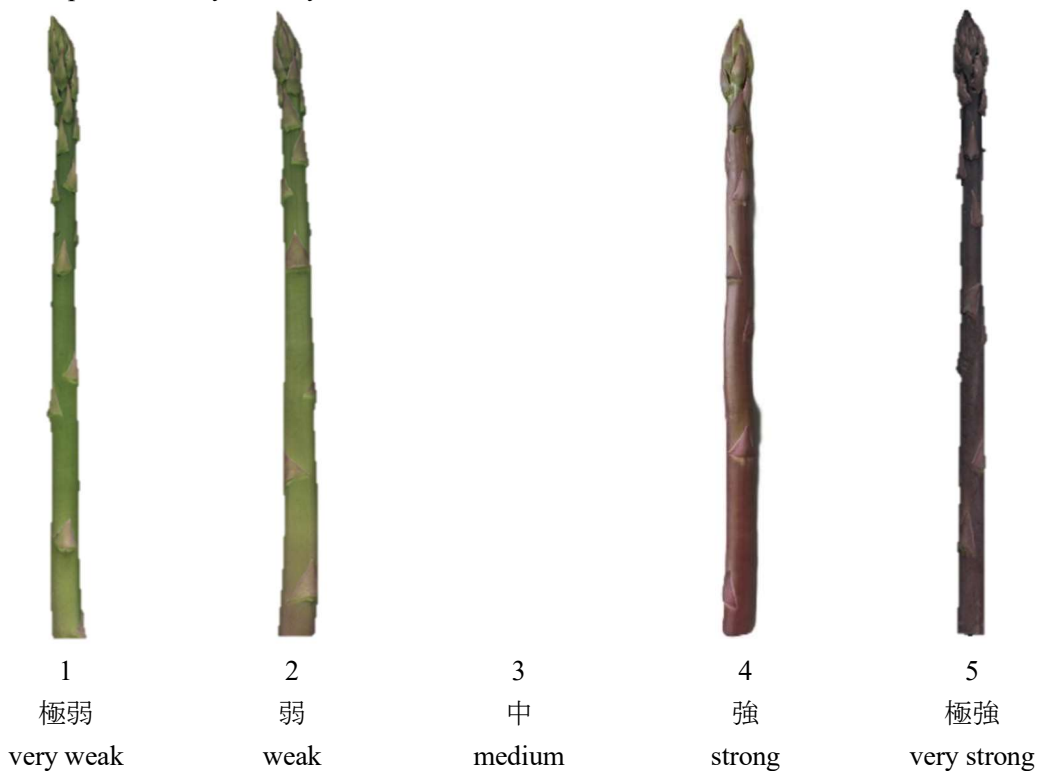
形質3 若茎先端部のアントシアニン着色の強弱

Char.3 Spear: intensity anthocyanin coloration of apex

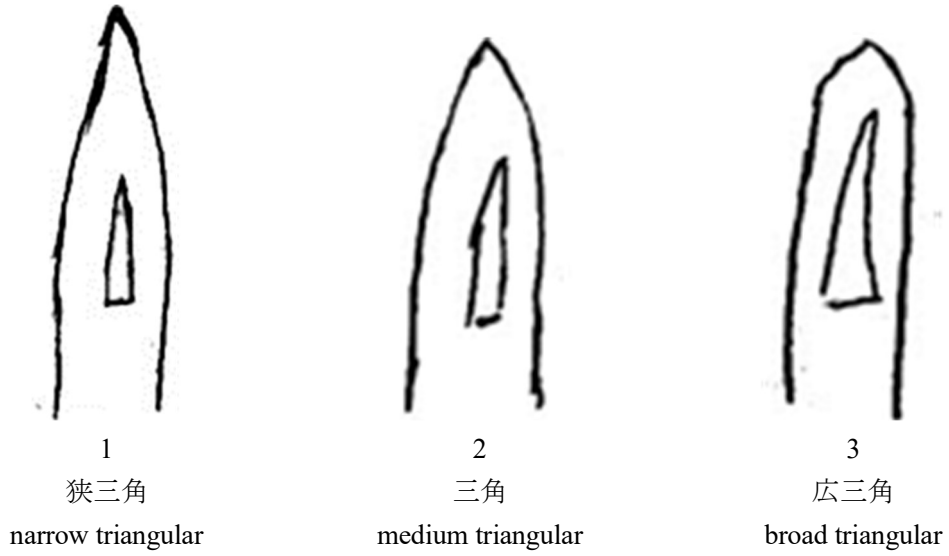


形質4 若茎のアントシアニン着色の強弱

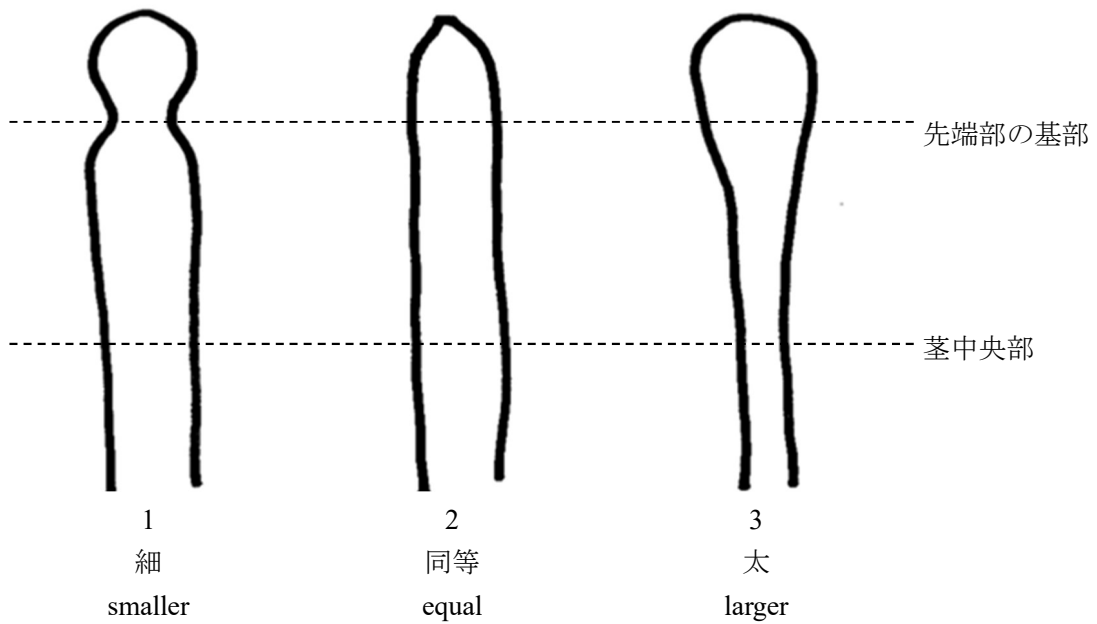
Char.4 Spear: intensity anthocyanin coloration



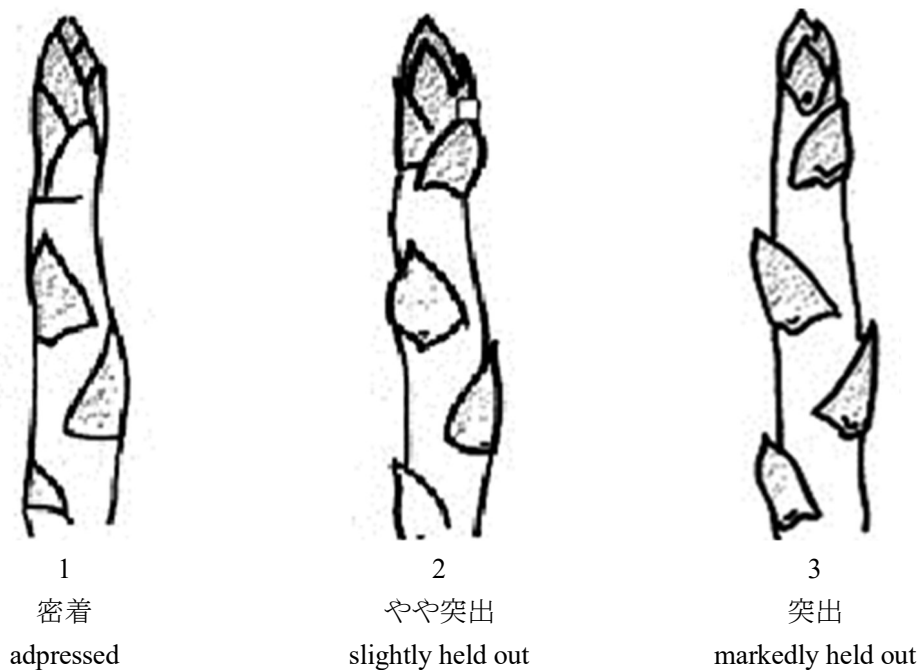
形質 6 若茎先端部の形 Char.6 Spear: shape of apex



形質 7 若茎の中央部と比較した先端部の基部の太さ
Char.7 Spear: diameter of base of apex compared to middle of stem

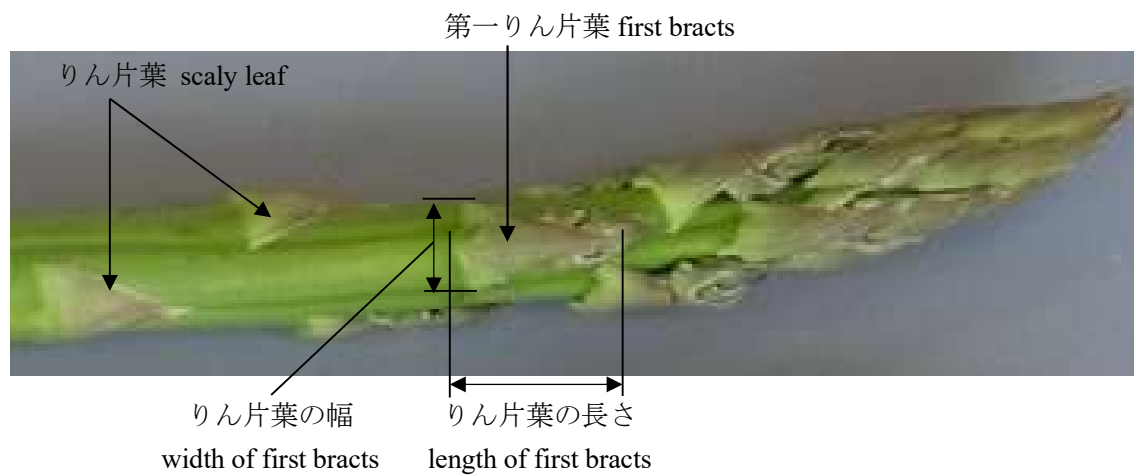


形質 8 若茎のりん片葉の着き方 Char.8 Spear: attitude of bracts



形質 9 若茎のりん片葉の長さ Char.9 Spear: length of first bracts at base of apex

形質 10 若茎のりん片葉の幅 Char.10 Spear: width of first bracts at base of apex



調査は、若茎の頭部の基部にある第一りん片葉で行う。

形質 11 茎の数 Char.11 Plant: number of stems

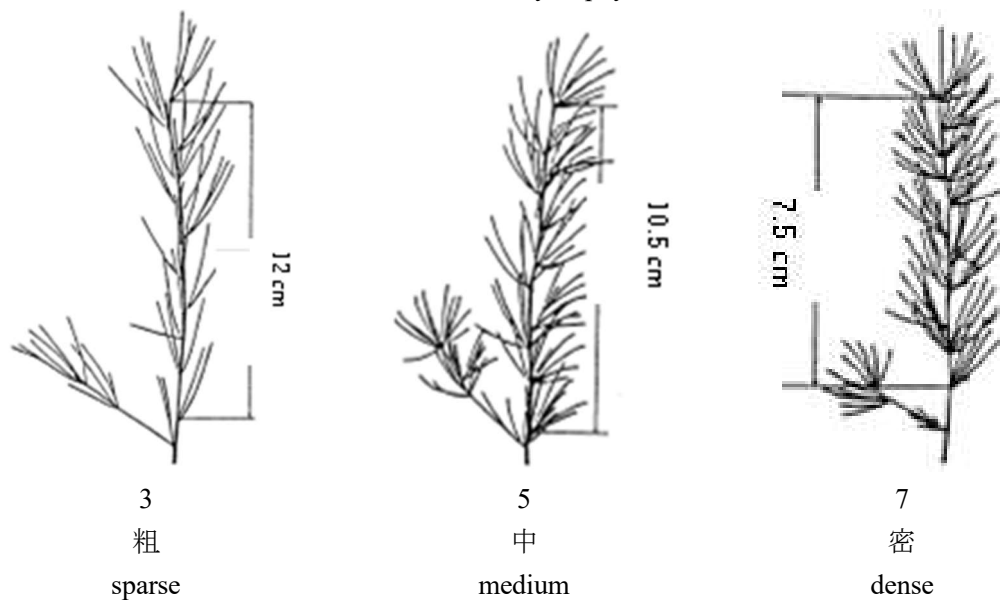
最初の生育期の若茎が十分に生育した時期に、収穫しない放任個体の茎の数により調査する。

形質 12 りん片葉の開き Char.12 Spear: opening of bracts

若茎が土壌表面から 5-10cm 伸びたときに観察する。

To be observed when the spear is 5-10 cm above soil surface.

形質 13 んぎ葉の粗密 Char.13 Plant : density of phylloclades

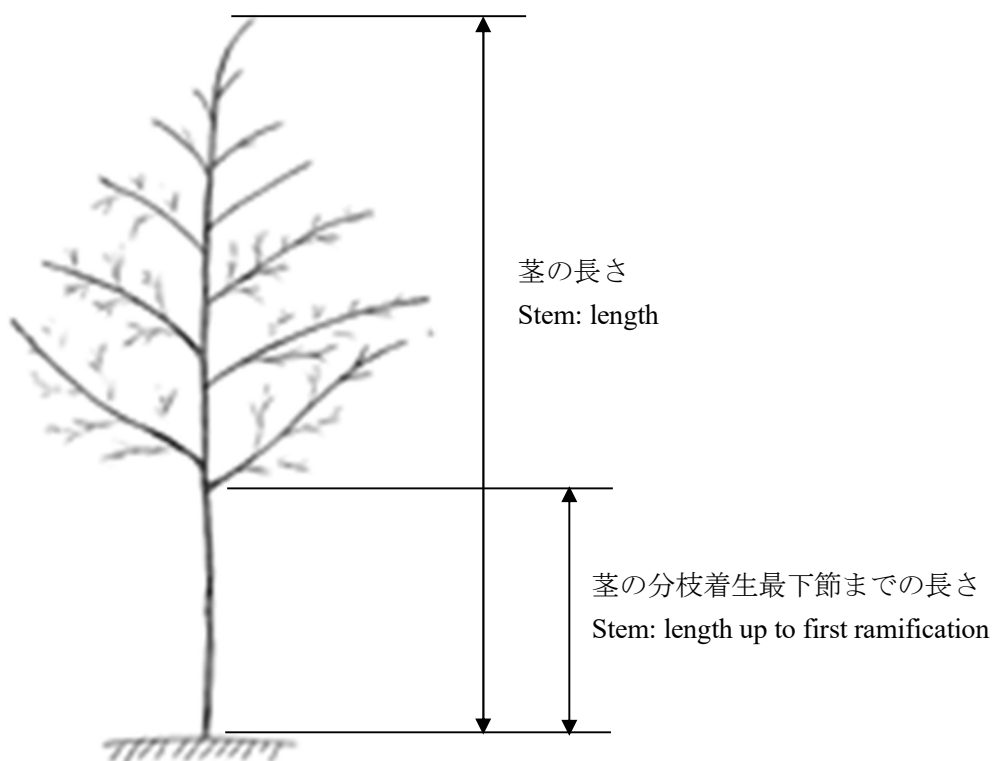


ぎ葉の粗密は、最初の分枝していない側枝で観察する。調査時期の葉を観察して、ぎ葉の先端着生部から 10 節までの長さを目安に評価する。

The density of phylloclades should be observed on the first non-branched side shoot.

形質 15 茎の長さ Char.15 Stem: length

形質 16 茎の分枝着生最下節までの長さ Char.16 Stem: length up to first ramification

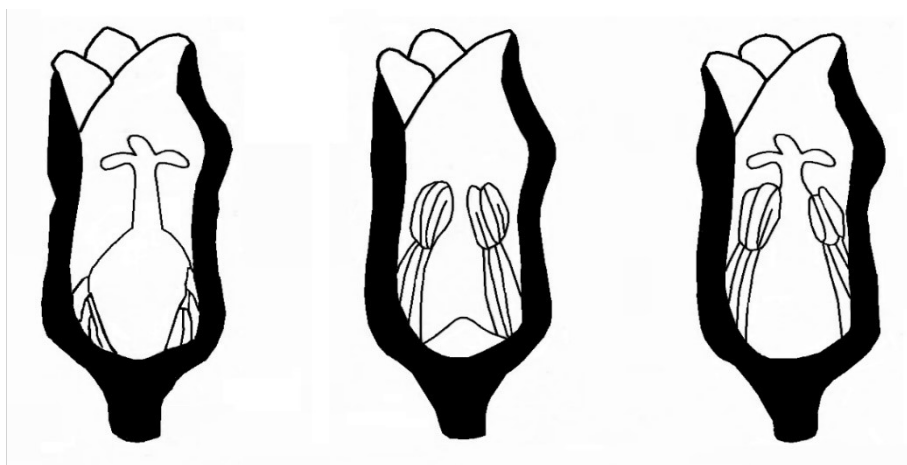


形質 18 開花始期 Char.18 Time of beginning of flowering

収穫していない株で観察する。開花始期は、30%の株で1つ以上の花が開花した時。

To be observed on non-harvested plants. The time of flowering is when 30% of the plants have at least one flower open.

形質 19 開花型 Char.19 Type of flowering



雌花

雄花(未発達な花柱なし)

雄花(両性花を含む
未発達な花柱あり)

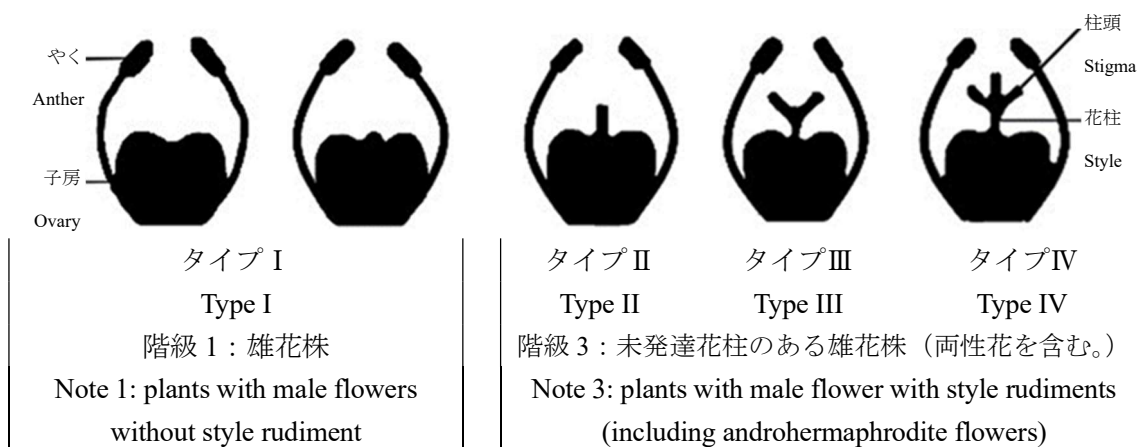
female flower

male flower

(without style rudiment)

male flower

(with style rudiment including
androhermaphrodite)



雄花のタイプ：花には常に完全に発達した葯があり、花柱は無いものから完全に発達したものの(タイプ I ~ IV)までであるが、柱頭は常に未発達か欠如している。通常は 3 本の柱頭のうち 2 本ある場合も、その花は雄花とみなされる。また、雄花は種子を作らない。

Type of male flowers: the flowers always have fully developed anthers; the style can be from absent to fully developed (Type I to IV), but the stigmas are always rudimentary or absent. Even when two of the (normal) three stigmas are present, the flower is considered to be male. The male flower will not produce seeds.

両性花(タイプ IV)は、3 本の柱頭と花粉を作る葯がある。自家受粉すると、種子を含む実ができる可能性がある。これらの実は、雌花株に比べ常に小さく、種子の量も少ない。

The androhermaphrodite flower (Type IV) has three stigmas and anthers which produce pollen. The flower has the possibility, when self pollinated, to produce a berry with some seeds. These berries are always smaller and with less seeds than on female plants and in much smaller quantities.

階級3の品種(雄花に花柱があるもの)には、両性花があるものもある。これらの株の中で、雄花に花柱があるもの(タイプⅡとⅢ)と、両性花(タイプⅣ)の比率は様々で、小さな実をつける雄花株の割合は増減する。

Varieties with note 3 (plants with male flowers with style rudiments) can also have plants with androhermaphrodite flowers. Within these plants the ratio between male flowers with style rudiments (type II and III) and androhermaphrodite flowers (type IV) can vary, leading to a smaller or larger percentage of male plants with a varying number of small berries.